

MEMS協議会(MEMS Industry Forum)の動き

MEMS協議会(MIF)は、我が国MEMS産業の国際競争力強化に貢献することを目的として、MEMS関連企業の構成メンバーが中心となり、アフィリエイト関係にあるアカデミー、地域拠点、海外機関等と連携しながら種々の活動を推進しています。

1. 今年度の活動計画

MIF推進委員会の下、産業交流委員会、ファンドライサービス産業委員会、国際交流委員会の3つの委員会を設置して具体的な事業活動を展開しています。5月から6月にかけて、MIF推進委員会を始め、3つの各委員会が第1回の委員会を開催し、年度計画の決定をしてきました。

6月12日に開催された推進委員会にて、今年度の全体活動計画が決定されました。今年度の特徴は、産業動向調査を継続し、さらに深掘りすること
経産省が中心になって推進しているナノテクアーリーナ構想をMIFとしてどのように活用していくか検討すること
各地域で実施されている人材育成事業をサポートし、組織化して継続的な事業とするための布石を打つこと
MemsONEなど、これまでのプロジェクトなどで得られた成果の普及促進を強化すること
厳しい予算環境の下、国際交流については選択と集中を図ること
などです。

この活動計画に沿った3つの委員会の活動計画を各々決定し、今年度事業が開始されています。



第1回推進委員会

2. MEMS産業動向調査MMC版まとまる

NEDOの委託で昨年度にまとめた「MEMS分野に

関する戦略策定のための国内外技術動向調査」にMMC産業動向調査委員会として実施した関連調査を加えた報告書がまとまりました。

MEMS技術によるデバイスおよびアプリケーション機器がどのように展開していくか、市場拡大の道筋とMEMS産業の動向を調査・分析したものです。

主な内容は、

- ・技術動向として国際会議における発表論文や特許出願の傾向
- ・アプリケーション動向として応用分野ごとの分析
- ・関連企業の動向として各種プレーヤの現状分析などです。

産業全体としてはもちろん、各企業の戦略策定に対しても基礎データとなり得ます。近々、MIF賛助会員ページにて公開されます。ご活用下さい。

3. 国際交流事業 ハノーバーメッセ、マイクロマシンサミット、LETIワークショップ

国際交流事業としては、国際シンポ開催や海外調査ミッション派遣などビジネス・学術の国際交流を行っています。

今年度はこれまでに、4月21 - 25日ハノーバーメッセ(独・ハノーバー)での展示・発表や5月5 - 8日マイクロマシンサミット(加・エドモントン、豚インフルエンザによる渡航自粛で日本からの参加はなし)、6月11 - 12日MMC/LETIワークショップ(仏・グルノーブル)での発表・交流などがありました。

MMC/LETIワークショップは、MIFの海外アフィリエイトであり、EU圏内におけるデバイス研究拠点の一つであるLETI/MINATECとMEMSに関して相互に発表し、交流を深めて連携を検討するものでした。日本の大学、企業、経産省、NEDOから参加を得て、ワークショップや施設見学を通じて、今後の事業・研究活動や政策研究への大いなる刺激を受けました。



LETI/MINATEC前で日本側参加者
(仏・グルノーブル)